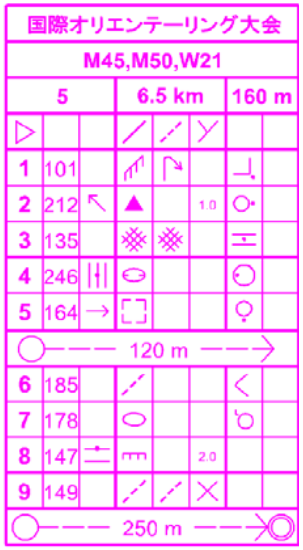
コントロールに関する規程

付則 ）コントロール位置説明仕様(JSCD2008)



社団法人日本オリエンテーリング協会　地図委員会

2008

日本オリエンテーリング協会　地図委員会

尾上俊雄（委員長）、田中徹（編）、羽鳥和重、中村弘太郎、高島和宏

コントロールに関する規程

1. 目　的

1.1 この規程は、国際オリエンテーリング連盟（以下 IOF という）が定める規程に基づき、社団法人日本オリエンテーリング協会（以下 JOA という）が国内で開催するオリエンテーリング競技会におけるコントロールの設置およびコントロールの位置説明について定めたものである。

2. コントロール

2.1 コントロールとはオリエンテーリングにおいて、コース設置者が地図上に表記する競技者が通過するための地点で、地表上においてはコントロールフラッグによって表示される。地図上ではその位置を中心とした直径 6㎜の円で示される。

3. コントロール位置

3.1 コントロール位置は、地図と地表上の双方に認められる特徴物あるいは特徴部でなければならない。地表上で認められても地図に表記されていない場合、あるいは特徴物あるいは特徴部の存在しないところにコントロールを設置してはならない。

3.2 特徴物とは、地図上において小さなこぶ、岩、石、穴など主として点状の記号で表記されるもの、道、川、植生界など線状の記号で表記されるもの、湿地、開けた土地など地表の状態によるもの、建物などの人工特徴物等をいう。特徴部とは、尾根、沢など地形が形成され等高線で表現される部分をいう。

4. コントロールの設置

4.1 コントロールの設置は、日本オリエンテーリング競技規則（ 以下競技規則という）16.1,16.2,16.3,16.4,16.5,16.6,16.7 に従わなければならない。

4.2 それぞれコントロールには、競技者が通過を証明するためのパンチ器具を備え付ける。パンチ器具は、競技規則 17.1 で示すピンパンチ式の器具または電子式のパンチ計時システムとする。

5. コントロール位置説明仕様（JSCD2008）

5.1 コントロール位置説明は、IOF が定めたコントロール位置説明国際規程(International Specification for Control Descriptions ： ISCD)を基本として、国内の競技会において適用する記号を加えた別表に示す方法により作成しなければならない。

5.2 コントロール位置説明を地図の誤りの修正のために使ってはならない。

5.3 コントロール位置説明の枠は１辺の長さが５から７ｍｍの正方形とする。

5.4 コントロールに近接して類似の特徴物がある場合（地図上に表記されたコントロール位置を示す円の内部に含まれる場合）、その相対的な位置関係を記号により８方位（北、北東、東、南東、南、南西、西、北西）で表示する。

5.5 コントロールを設置する特徴物をより詳しく説明する必要がある場合、その形状や寸法を、また地図では示されていない植物の茂っている・湿地状・岩状などの状態を表記することができる。

5.6 コントロールを特徴物の部分や周辺に設置する場合、その特徴物の、または特徴物からの位置を記号により８方位で表示する。また位置（内側、外側、頂上、根元等）を記号で表記する。

5.7 線状特徴部は記号を組合せて表記することができる。

5.8 その他の情報（救護、給水、有人等）を記号で表記することができる。

5.9 コントロール位置説明には以下の情報を含まなければならない。

- 大会名称（表記は任意）
- コース番号（表記は任意）
- クラス名・コース距離・登高
- コントロール位置（スタート位置説明を含む）
- 誘導区間の長さと誘導方法（フィニッシュへの誘導方法を含む）

5.10 コース距離は０．１ｋｍ単位とし、小数点第二桁を四捨五入して表記する。

5.11 登高は近位の５ｍ単位で表記する。

5.12 コントロール位置説明の各欄の区分は以下のとおりとする。（左からＡ～Ｈ欄）

Ａ欄：コントロール番号〈通過指定順番〉
Ｂ欄：コントロール識別番号〈競技規則 16.6〉
Ｃ欄：近接する類似の特徴物との相対位置（5.4）
Ｄ欄：特徴物・特徴部
Ｅ欄：特徴物の形状・状態（5.5）
Ｆ欄：特徴物の寸法〈特徴物の高さ、広さ等〉(5.5)

G欄：フラッグの位置（5.6）

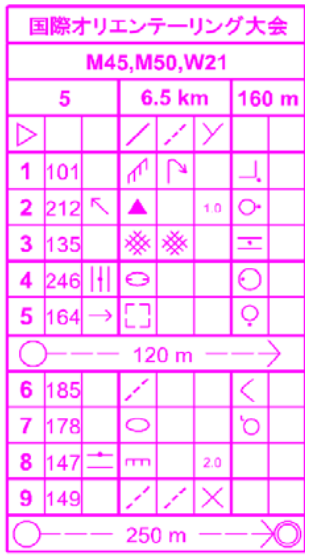
H欄：その他の情報〈救護、給水、無線、有人等〉（5.8）

5.13 コース中の誘導区間など特定の指示情報は、当該のコントロール間に挿入して表記する。

5.14 コントロール位置の水平の枠線は３本毎に太く表記する。特定の指示情報は上下ともに太く表記する。

5.15 初心者や中級者用に、コントロール位置説明の日本語による記載あるいは併記をすることができる。この場合、記号による表示と同じ様式で記載することが好ましい。

5.16 コントロール位置説明の例示



大会名称（記載は任意）			
クラス名：Ｍ４５，Ｍ５０，Ｗ２１			
コース番号：５		距離：6.5km	登高：160m
スタート		道路と小道の分岐	
１	１０１	壊れた柵 南東の角(外側)	
２	２１２	北西の岩 高さ1.0m 東側	
３	１３５	藪(やぶ)の間	
４	２４６	まん中の凹地 西の部分	
５	１６４	東の建物跡 南側	
コントロールから誘導120m			
６	１８５	小道の曲がり	
７	１７８	こぶ 北西の根元	
８	１４７	上の岩がけ 高さ2.0m	
９	１４９	小道の分岐	
最終コントロールからフィニッシュへ誘導250m			

6. 付　則

この規程は、平成20年3月2日から施行する。

本規程の施行に伴い、コントロール位置説明作成規程は廃止する。

平成20年3月2日制定

別　表

Ｃ欄　類似の特徴物との相対位置

JSCD	記　号	名　称	定　義
0.1		北の	ふたつのあるいはそれ以上ある類似の特徴物のうち最も北にある
0.2		南東の	ふたつのあるいはそれ以上ある類似の特徴物のうち最も南東にある
0.3		上の	類似の特徴物のすぐ上にある
0.4		下の	類似の特徴物のすぐ下にある
0.5		まん中の	類似の特徴物のうちまん中にある

Ｄ欄　コントロールの特徴物

地　形　（ JSOM 4.1，JSSOM 4.1 ）

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
1.1		テラス	傾斜面にある水平な地形部分.	101 102 103	101 102 103
1.2		尾根	地形上の突起部または周辺の地表から隆起している部分.	101 102 103	101 102 103
1.3		沢	地形上の陥入部、谷、沢.	101 102 103	101 102 103
1.4		土がけ	周辺の地形から明らかに見分けることのできる地表の急斜面.	106	106

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
1.5		採石場	砂利、砂、岩石などの採取場.	106 201	106 201
1.6		土塁･ 堤防	周辺の地表よりも高く幅の狭い土塁. 一部分が岩石で覆われている場合もある. 一般的に人工物である. 壊れた土塁は 8.11 を併用する.	107 108	108.1
1.7		きれつ	通常は乾いているきれつやみぞ.	109	109
1.8		小さな きれつ	通常は乾いている小さなきれつやみぞ.	110	110
1.9		こぶ	地表の高い部分. 地図上では等高線により表記されている.	111	101 102 103
1.10		小さな こぶ	小さくて明瞭な地表の高まり. 岩石でできた小さなこぶは 8.6 を併用する.	112 113	112 113
1.11		鞍(あん)部	ふたつの高い地点の間にある低い地点.	101 102 103 111	101 102 103
1.12		凹地	地表面が周囲より低くなっている凹地やくぼみ. 地図上では等高線により表記されている.	114	101 102 103 104
1.13		小凹地	地表面が周囲より低くなっている自然に形成された小さくて浅く明瞭な凹地やくぼみ.	115	115
1.14		穴	明瞭に落ち込んでいるくぼみや穴. 一般的に人工である. 岩穴を表わす場合は 8.6 を併用する.	116 204	116 204
1.15		凹凸地	個別に表示することができない複雑なあるいは小さな穴やこぶのある場所. 動物の巣穴を含む.	117	117

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
1.16		アリ塚	アリやシロアリの形成した塚.	(118)	(118)

岩と石　（ JSOM 4.2, JSSOM 4.2 ）

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
2.1		岩がけ 岩壁	通過可能または通過不能な岩がけや岩壁.	201 203	201 203 519.1 521.1
2.2		柱状の岩	天然の高い岩の突起.	202	202
2.3		横穴	岩壁や斜面にある穴.	205	205
2.4		岩	独立していて目立つ岩や石.	206 207	206 207
2.5		岩石地	個々に表記できない多くの岩石で覆われた区域.	208	208
2.6 新規		岩石群	個々に表記できない密集した岩石の小さく明瞭なかたまり.	209	
2.7		礫(れき)地	多数の小さな岩石で覆われた区域.	210	210
2.8		露岩	表土や植生のない走行可能な岩が露出した区域.	212	212
2.9		がけの間の通過部分	向かい合った岩がけや岩壁の間の通過部分.	201 203	201 203

水系と湿地 （ JSOM 4.3, JSSOM 4.3 ）

JSCD	記 号	名 称	定 義	JSOM	JSSOM
3.1		湖	大きな面積を占める水面．通常は通過不能.	301	304.1
3.2		池･沼	小さな面積の水面.	302	304.1 305.1
3.3		小さな池	水の溜まっている穴または小さな凹地.	303	303
3.4		河川･ 小川･ 水路	水の流れのある、あるいは流れていない自然のまたは人工的な河川、小川.	304 305 306	304.1 305.1 306
3.5 変更		細い水路 みぞ	途切れとぎれに水のある自然の、または人工の細い水路.	307	307
3.6		細い湿地	湿地の記号では細くて地図に表現できない狭い湿地、またはわずかに水の流れる場所.	308	308
3.7		湿地	湿性の植生を伴なった常に湿った区域.	309 310 311	309 310 311
3.8		湿地の中 の乾燥地	湿地の中の乾いた部分、またはふたつの湿地の間にある乾いた部分.	309 310 311	309 310 311
3.9		井戸	地表で明瞭に見ることができる水坑や囲いのある湧水点. 多くは人工の囲いを伴なっている.	312	312
3.10		湧水点	明確に水が湧き出している小川、水路の源.	313	313
3.11 新規		貯水槽･ 水桶	人工の水槽	(314)	(314)

植生 （ JSOM 4.4, JSSOM 4.4 ）

JSCD	記 号	名 称	定 義	JSOM	JSSOM
4.1		開けた土地	耕作地、芝地、牧草地、広場、空地、砂地などの木の生えていない開けた土地	401 211 415	401 211 415
4.2		半ば開けた土地	まばらに木や藪の点在する開けた土地および伐採地、倒木帯、シダ･笹やヒースなどの生えた荒地.	402 403 404	402 403 404
4.3		林の角	開けた区域に入り込んでいる林の角や突端		
4.4		クリアリング	林の中にある木の生えていない小さな区域	401 403	401 403
4.5		藪(やぶ)･植込み	樹木に覆われたり、下生えが密に茂っていて通過することが困難な小さな区域	408 410	408 410 421 419
4.6 変更		線状の藪(やぶ)･線状の植込み	通過することが困難な人工的に植えられた線状の樹木列や藪(やぶ)、植込み.	410	410 421
4.7		植生界	異なる種類の樹木や植生の間の明瞭な境界	416	416
4.8 変更		小さな林	開けた土地の中にある小さな木の生えた区域	405 406	405 406
4.9 変更		独立樹	開けた土地、林の中に生えている異種の、または明瞭な樹木. 樹種などの個別情報を付すことがある.	418 419 420	418 419
4.10		切り株･木の根	木の切り株. 幹のあるまたは幹のない倒木の露出した根.	(418) (419) (420)	(420)

人工特徴物　（ JSOM 4.5，JSSOM 4.5 ）

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
5.1		道路	砂利やアスファルトで舗装した、または土の道路. 通常の天候では自動車の通行に適している.	501 502 503 504	529
5.2		道 小道 小径	人が作ったり動物がつけた可視的な小道. 険路用の乗り物であれば通行できるものを含む.	505 506 507 508	506.1 507 508
5.3		切り開き	森林の中の明瞭な直線状の切れ目で小道を伴なっていないもの	509	509
5.4		橋	湖沼、河川や水路、道路や線路などの特徴物上を通過するための構造物.	512 513	512.1
5.5		送電線	送電線、電話線、ケーブルやスキーリフト	516 517	516 517
5.6		送電線の 支柱･ 鉄塔	送電線、電話線、ケーブルやスキーリフトなどの支柱	516 517 535	516 517 526.1 535
5.7 新規		トンネル	道路や線路の地下を通過する部分	518	518.1
5.8		石塁	岩石で構築された壁・石塁、または岩石で覆われた堤防.	519 520 521	519
5.9		柵	ワイヤー製やパイプまたは木製の柵または手すり、フェンス. 壊れた柵は 8.11 を併用する.	522 523 524	522 524
5.10 新規		横断地点	壁、柵やフェンス、パイプラインなどで門や踏み台によって通過できる地点	525	525
5.11		建物	レンガや木、石などで作られた屋根のある恒常的な建造物、またはビニールハウス.	526 526.5	526.1 526.5

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
5.12 新規		舗装区域	駐車場などの目的により舗装された区域	529	529
5.13		建物跡	倒壊した建物の跡	530	
5.14 新規		パイプライン	ガス、水道、石油などの地表にあるパイプライン	533 534	533 534
5.15		塔	金属、木またはレンガなどで作られた高い構造物	535 536	535 536
5.16		射撃台	狩猟や監視に使われている樹木に取り付けられた台座のある構造物	536	536
5.17		境界石･ ケルン	人工の石の標識や石の杭、ケルン、記念石、境界石、三角点標識.	537	537
5.18		給餌台	動物に給餌するための構造物.	538	538
5.19		炭焼き窯跡･ 炭焼き場	炭焼きに使われた明瞭な跡.		
5.20 新規		記念物･ 彫像	記念碑、彫像など.	537	537
5.23 新規		建物の通過できる部分	建物内を通過、通行できる部分、アーケード、天蓋.		526.2
5.24 新規		階段	少なくとも 2 段以上の階段		529.1

特別に定義される特徴物

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
6.1		（特別な特徴物）	特別に定義して使用される．この記号を使用する場合、競技者に対して競技開始前に定義の説明をしなければならない．		
6.2		（特別な特徴物）	特別に定義して使用される．この記号を使用する場合、競技者に対して競技開始前に定義の説明をしなければならない．		

国内ローカル記号として定義された特徴物

日本国内の競技において使用される特徴物を表わす国内ローカル記号を以下に示す。国際的な競技においてこれらのローカル記号を使用する場合、全競技者に対してプログラム等を通じあらかじめ周知しなければならない。

JSCD	記　号	名　称	定　義	JSOM	JSSOM
7.1		墓地･墓	墓石や墓標のある明瞭な墓、墓地．	532	(540)

E欄　特徴物の状態

JSCD	記　号	名　称	定　義
8.1 新規		低い	低いまたは平坦な特徴物に用いる．特徴物は地図上に表記されていなければならない．例：低いこぶ
8.2		浅い	浅い特徴物に用いる．特徴物は地図上に表記されていなければならない．例：浅い沢
8.3		深い	深い特徴物に用いる． 例：深い穴
8.4		植物の茂っている	特徴物が地図に表記されていない藪(やぶ)下生えで部分的に覆われている場合に用いる． 例：藪(やぶ)が茂っている廃屋
8.5		開けた	特徴物が地図に表記されていない、周囲の植生に比較して樹木に覆われていないで開けている場合に用いる． 例：開けた湿地
8.6		岩の･岩状の	特徴物が岩石や礫(れき)で形成されている場合に用いる． 例：岩穴
8.7		湿地状の	特徴物が地図に表記されていない湿地状である場合に用いる 例：湿地状の沢
8.8		砂地状の	特徴物が地図に表記されていない砂地で覆われている場合に用いる． 例：砂地状の尾根、砂地の開けた土地
8.9		針葉樹の	コントロールとなる特徴物に関連する樹木が針葉樹である場合に用いる． 例：針葉樹の独立樹
8.10		広葉樹の	コントロールとなる特徴物に関連する樹木が広葉樹である場合に用いる 例：広葉樹の小さな林
8.11		倒れた壊れた	倒れたまたは壊れた特徴物に用いる． 例：壊れた柵

Ｆ欄　特徴物の大きさ･高さ、組み合わせ

大きさ･高さ･深さ

JSCD	記　号	名　称	定　義
9.1	2.5	高さ または 深さ	特徴物の高さまたは深さをメートル表記で表わす
9.2	8×4	大きさ	面状特徴物の面の大きさをメートル表記で表わす
9.3	0.5 3.0	傾斜上の高さ	斜面にある特徴物の高さを、斜面上方側および下方側についてメートル表記で表わす
9.4	2.0 3.0	ふたつの特徴物の高さ	コントロールのある位置を構成するふたつの特徴物の高さをメートル表記で表わす.

組み合わせ

JSCD	記　号	名　称	定　義
10.1		交点	ふたつの線状特徴物の交差する地点
10.2		分岐	ふたつの線状特徴物の分岐する地点

Ｆ欄において「**交点**」10.1 または「**分岐**」10.2 を用いる場合、交点や分岐を構成する二つの特徴物の双方を**Ｄ欄**と**Ｅ欄**に記載する。以下に使用例を示す。

Ｄ欄	Ｅ欄	Ｆ欄	言語表記（例）	定　義
			小道の交点	ふたつの類似の線状特徴物が交差する地点
			切り開きと水路の交点	ふたつの異なる線状特徴物が交差する地点
			道路の分岐	ふたつの類似の線状特徴物が分岐する地点
			小川と細い湿地の分岐	ふたつの異なる線状特徴物の分岐する地点

Ｇ欄　コントロールフラッグの位置

注記：コントロールフラッグが特徴物の中央部もしくは可能な限りその近く、あるいは岩がけの場合では根元の中央部に設置される場合、コントロール位置説明においてフラッグの設置位置は記載する必要はない。

JSCD	記　号	名　称	
11.1		北東側	特徴物が地表面よりも上部にある場合に使用する. 例：岩、北東側；廃屋、西側
11.2		南東のふち	ａ）特徴物は周辺の地表面よりも低く、コントロールは地表面と同じ水準のふちの部分にある. 例：凹地、南東のふち ｂ）特徴物は十分な面積を有し、コントロールはその区域のふちの部分にある. 例：湿地、西のふち；クリアリング、北西のふち
11.3		西の部分	特徴物は十分な面積を有し、コントロールは中心でもふちでもない部分にある. 例：湿地、西の部分；凹地、南東の部分
11.4		東の角（内側）	ａ）特徴物のふちが 45－135 度の角度で折り返している. 例：開けた土地、東の角（内側）；廃屋、北西の角（外側） ｂ）線状特徴物が角度を持って曲がっている. 例：柵、南の角（内側）；石塁、南西の角（外側） この記号の向きは角の方向を示す
11.5		南の角（外側）	
11.6		南西の突端	特徴物のふちが 45 度未満の角度で折り返している. 例：湿地、南西の突端
11.7		曲がり	線状特徴物がなめらかに方向を変化させている. 例：小道の曲がり；小川の曲がり
11.8		北西の終わり	線状特徴物の開始または終わる地点. 例：切り開き、北西の終わり；石塁、南の終わり

JSCD	記　号	名　称	
11.9		上の部分 ・上部	特徴物が２本またはそれ以上の等高線で構成されあるいは跨いでいて、コントロールが最上部に近い部分にある. 例：きれつ、上の部分
11.10		下の部分 ・下部	特徴物が２本またはそれ以上の等高線で構成されあるいは跨いでいて、コントロールが最下部に近い部分にある. 例：沢、下の部分
11.11		頂上・ 上	コントロールが特徴物の最も高い地点にある. 例：岩がけの上
11.12 新規		下	コントロールが特徴物の下にある. 例：パイプラインの下
11.13		根元 （方向を示さない）	コントロールが特徴物の傾斜部分の下部と周囲の地表の接している部分にある. 例：土がけ、根元
11.14		北東の根元	「根元」11.12 と同様であるが、コントロール位置を特定する必要がある場合. 例：こぶ、北東の根元
11.15		間	コントロールがふたつの特徴物の間にある場合. 例：藪（やぶ）の間；岩とこぶの間

「間」11.15 をＧ欄において使用する場合、「間」を構成する二つの特徴物の双方をＤ欄とＥ欄に記載する。以下に使用例を示す。

Ｄ欄	Ｅ欄	Ｆ欄	Ｇ欄	言語表記（例）	定　義
				藪（やぶ）の間	ふたつの類似の特徴物の間
				岩とこぶの間	ふたつの異なる特徴物の間

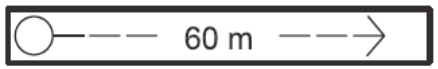
Ｈ欄　その他の情報

JSCD	記　号	名　称	定　義
12.1		救護	救護所が併設されたコントロール
12.2		給水	給水所が併設されたコントロール
12.3		無線またはＴＶ	無線またはＴＶ撮影のあるコントロール
12.4		有人	コントロールカードの確認をおこなう役員のいるコントロール

特定の指示情報表記

特定の指示情報は、位置説明のなかで競技者に必要な情報を提示するものであり、地図上に表記されている情報の強調のために使用する。

誘導区間が特定のコントロールから、またはコントロール間に設定されている場合、以下の表記をおこなう。

JSCD	記　号	名　称　／　定　義
13.1		コントロールから誘導 60m
13.2 新規		コントロール間の誘導 300m

コントロール間に必ず通らなければならない横断地点または横断部分がある

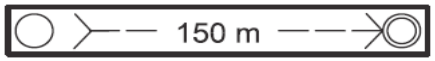
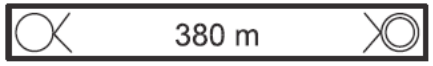
JSCD	記　号	名　称　／　定　義
13.3 新規		コントロール間に必ず通らなければならない横断地点がある.
13.4 新規		コントロール間にある立入禁止区域の中に必ず通らなければならない横断部分がある.

コントロールから地図交換所まで誘導区間がある場合、最初のコースの最終コントロール位置説明に続けて下記の表記をおこなう。

JSCD	記　号	名　称　／　定　義
13.5		地図交換所まで誘導 50m

最終コントロールからフィニッシュへの誘導

コントロール位置説明に連続して、最終コントロールからフィニッシュまでの誘導の状態は以下の表記によって表記する。

JSCD	記　号	名　称　／　定　義
14.1		最終コントロールからフィニッシュまで誘導 400m
14.2		最終コントロールからフィニッシュまで、漏斗状の誘導 150m
14.3		最終コントロールからフィニッシュまで、誘導なし 380m

JSCD2008（ISCD2004）における ISCD1990 からの改正点について

(社)日本オリエンテーリング協会　地図委員会

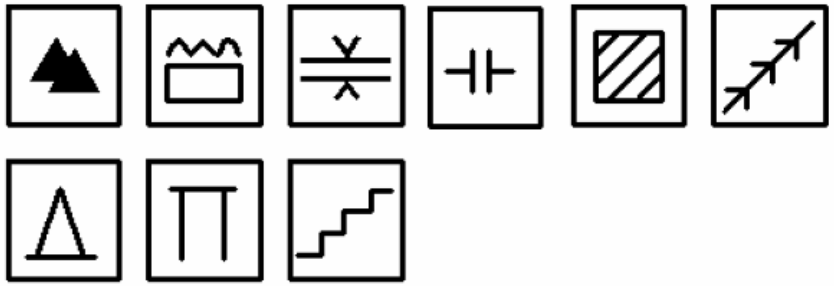
国際オリエンテーリング連盟（IOF）の定めるコントロール位置説明は、2004 年版への改正（ISCD2004）により 1990 年版（ISCD1990）からいくつかの変更が行われた。JSCD2008 は ISCD2004 に基づいて制定したものである。

日本国内の一部競技において、ISCD1990 と ISCD2004 の混乱した状態が散見されている。今回 JSCD2008 の制定にあたり、ISCD1990 からの主な削除、変更、新規制定の事項を明確にするため、以下に要点を取りまとめた。

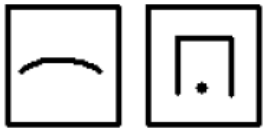
1．記号名や定義等について、日本オリエンテーリング地図図式規程(JSOM2007)および日本スプリントオリエンテーリング地図図式規程(JSSOM2007)と整合性を考慮し、運用上の混乱要因を排除した。

2．JSCD2008(ISCD2004)で削除された記号
尾根、ケルン・石積、小さな湿地、みぞ、荒地、線状の植込み

3．JSCD2008(ISCD2004)で追加された新規記号（スプリント O 対象を含む）
岩石群、貯水槽・水桶、トンネル、横断地点、舗装区域、パイプライン、記念物・彫像、通過できる建物、階段

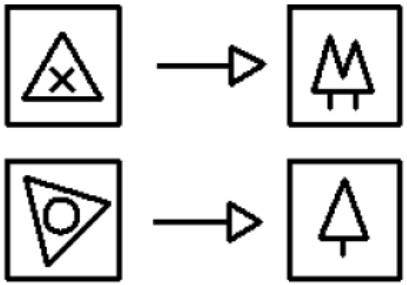


低い、下



4．図式変更をした記号、定義変更をした記号

小さな林、独立樹



（旧）季節的水路　(新)細い水路・みぞ

5．誘導に関する新規記号

コントロール間の誘導

コントロール間に必ず通らなければならない横断地点がある

コントロール間にある立入禁止区域の中に必ず通らなければならない横断部分がある

6．記号明示位置の変更

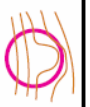
「交点」10.1 および**「分岐」**10.2 の表示を**Ｅ欄**から**Ｆ欄**に変更し、構成する特徴物記号の双方を**Ｄ欄**および**Ｅ欄**に記入する。

7．記号表記定義の変更

Ｇ欄に「間」11.15 を用いる場合、構成する特徴物記号の双方を**Ｄ欄**および**Ｅ欄に**記入する。

以上

表示例

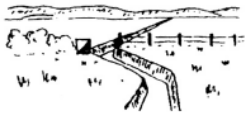
地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		1	テラス
		2	テラス、西の部分
		3	尾根
		4	尾根、上の部分
		5	尾根
		6	沢
		7	沢、上の部分
		8	浅い沢

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		9	東の沢
		10	土がけ、根元
		11	採石場、5×5m
		12	採石場、東のふち
		13	採石場、東の部分
		14	土塁、東の終わり
		15	きれつ、下の部分
		16	小さなきれつ、 北東の終わり
		17	こぶ

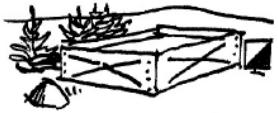
地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		18	こぶ、北西の部分
		19	こぶの間
		20	こぶと小さなこぶの間
		21 1.0	小さなこぶ、1.0m
		22 1.0	小さなこぶ、1.0m、東の根元
		23	鞍(あん)部
		24	凹地
		25	凹地、東の部分
		26	まん中の小凹地、東のふち
		27	穴、西のふち

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		28	アリ塚
		29	岩がけ
		30	岩がけ、北の根元
		31	上の岩がけ
		32	岩がけの上
		33	岩がけの間
		34	柱状の岩、南の根元
		35	横穴
		36	岩、西側

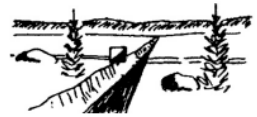
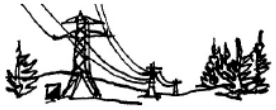
地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		37	南東の岩、東側
		38 1.0 1.5	岩(1.0,1.5m)の間
		39 0.5 3.0	岩（高さ0.5/3.0m)、西側
		40	岩石地、南東のふち
		41	岩石群、南側
		42	礫(れき)地、北のふち
		43	露岩
		44	露岩、西の部分
		45	がけの間の通過部分

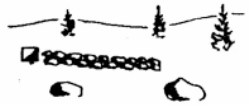
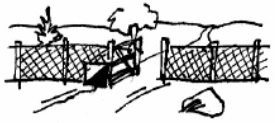
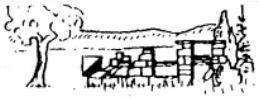
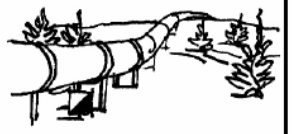
地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		46	湖、東の突端
		47	池、東のふち
		48	小さな池、東のふち
		49	小川の曲がり
		50	小川の南の曲がり
		51	小川の分岐
		52	細い水路、北東の終わり
		53	細い水路の曲がり
		54	細い水路の北の曲がり
		55	細い水路の分岐

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		56	細い水路の交点
		57	細い湿地、南東の終わり
		58	湿地、北西の部分
		59	湿地、南の突端
		60	湿地、東のふち
		61 8x8	湿地、8×8m
		62	湿地の間
		63	湿地の中の乾燥地、北西の突端
		64	井戸、東側

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		65	湧水点、西のふち
		66	貯水槽、東側
		67	開けた土地、東の角（内側）
		68	砂地の開けた土地、西のふち
		69	半ば開けた土地、東のふち
		70	林の角、南の突端
		71	クリアリング
		72	薮(やぶ)、東側
		73	線状の植込み、東の角(外側)

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		74	植生界、東の角 (外側)
		75	小さな林、 西の突端
		76	広葉樹の独立樹
		77	木の根、東側
		78	道路、 南東の終わり
		79	道路の分岐
		80	道路と小道の交点
		81	小道の曲がり
		82	小道の西の曲がり

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		83	小道の分岐
		84	小道の交点
		85	小道と小川の交点
		86	小道と細い水路の交点
		87	切り開きの曲がり
		88	橋、北の終わり
		89	送電線の支柱
		90	トンネル、南西の終わり
		91	石塁、東の角 (内側)

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		92	壊れた石塁、西の終わり
		93	小川と石塁の交点
		94	小道と石塁の交点
		95	柵、南の角(外側)
		96	横断地点、南側
		97	建物、東側
		98	建物跡、西側
		99	パイプラインの下
		100	塔、南側

地 図	スケッチ	位 置 説 明	日本語による記載
		101	射撃台
		102	ケルン、東側
		103	給餌台、西側
		104	炭焼き場
		105	彫像
		106	建物の通過できる部分、南西の終わり
		107	階段、根元